

## 単元名 図を使って考えよう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 相殺や置換の考え方を理解し、その考え方をを使って問題を解くことができる。  
 (2) 複雑な数量関係の解決方法を、相殺や置換を基に考えることができる。  
 (3) 相殺や置換の考え方をを使って解く思考方法のよさが分かり、進んで活用しようとする。

## 標準的な展開例

05040203\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 相殺の考えを用いる問題に取り組む。[p.124]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 図をかいて、2つの買い方をくらべよう。</li> <li>○ 同じものに目を付け、差し引いて等式を見付ける。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>2 置換の考えを用いた問題に取り組む。[p.125]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 同じものに目をつけて考えよう。</li> <li>○ 子どもを大人に置き換えて等式を見付ける。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図や線分図などを用いて数量の関係を明確に把握し、等式を発見させる。</li> <li>・ 2つの量を比較し、何と何が等しいかに着目させる。残りの大きさから問題を解く手掛かりを見付けさせる。</li> <li>【評】相殺の考えを用いた問題を解く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 線分図を手掛かりにして、視覚的に捉えさせる。</li> <li>・ 2つの量を比較し、一方が他方の何倍に相当するか明確にし、全体の量が一方の量の何倍に当たるかをつかませる。</li> <li>【評】置換の考えを用いた問題を解く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> </ul>

## 【 備 考 】

本単元は、相殺の考えを用いて解く問題と置換の考えを用いて解く問題の2つに大別される。これらは、物事を考える際に様々な関係や条件をなるべく単純化して考える問題であるので、しっかり身に付けさせ、生活に生かす態度を育てていけるように単元構成や授業展開を工夫する必要がある。